

平成24年度 修士論文

韓国農村集落における風水説に基づいた地形構造と景観に関する研究

大分大学大学院 工学研究科 博士前期課程 建設工学専攻

佐藤誠治・小林祐司 建築・都市計画研究室

11E5018 山口 泰佑

1章. 序論

1-1.研究の背景

1-2.既往研究における本研究の位置づけ

1-3.研究の目的と方法

1-4.参考文献

風水によってつくられた景観には、現代の都市が見失った、自然と共生することによって得られる安息感があると考えられる。そのため、自然・人間の調和ある環境形成を目的とした風水を、現代において追及することは意義があるといえるのではないだろうか。

1章. 序論

1-1.研究の背景

1-2.既往研究における本研究の位置づけ

1-3.研究の目的と方法

1-4.参考文献

これまでの研究により2010年に13集落、2011年に11集落、2012年に14集落と、韓国のような地方で総計38集落の調査を行ったが、各年で相互の関係性については深く言及していなかった。そこで本研究では、これまでの研究を通して新たに得られた知識やデータをもとに改めて各年の風水集落を見直すことにより、総集編的な立ち位置を目指した。

1章. 序論

1-1.研究の背景

1-2.既往研究における本研究の位置づけ

1-3.研究の目的と方法

1-4.参考文献

前年度までに発見した「開放型風水景観」、「閉鎖型風水景観」、「生活風水景観」とは異なる、新しい風水景観の発見を目的としている。風水説はその幅広い解釈から、多くの原理・原則が存在している。その一つ一つを検証し、風水景観の構成を明らかにしていく上で、数多くの風水景観が得られると考えている。また、その個々の理論からなる風水景観の特徴をまとめそれぞれの相違点と共通点を明確にすることで理論と景観の関係性と、風水景観の類型化も目的とする。

2章. 風水について

2-1.風水の概要

2-2.風水説の歴史

2-3.主要語句

2-4.風水説の原理



1. Distance Mountain: 祖宗山
2. Main Mountain: 主山
3. Entry Neck: 入首
4. Dragon Head: 頭腦
5. Sa: 砂
6. Ketsu: 穴
7. Meido: 明堂
8. Outside Azure Dragon: 外青龍
9. Outside White Tiger: 外白虎
10. Inside White Tiger: 内白虎
11. Inside Azure Dragon: 内青龍
12. Front Small Mountain: 案山
13. Front Big Mountain: 朝山
14. Water: 水
15. Inside Water Mouse: 内水口
16. Outside Water Mouse: 外水口

2章. 風水について

2-1.風水の概要

2-2.風水説の歴史

2-3.主要語句

2-4.風水説の原理

2. 蔵風法

明堂に位置する「穴」を探すことを目的とする風水において、明堂、周囲の地形、地勢をいかに認識しているか、ということは風水を理解する上で重要なカギとなる。この明堂周辺の地勢に関する風水理論を通称して蔵風法という。したがって、風水の術は「蔵風得水」重視することになる。風は地中から発生する生気を散らしてしまうので、生気を含み、陰陽の元気を持つこの風を集めることができれば、風水の目的は達成可能となる。ここに蔵風の必要性が生じる。これは風を防ぐ(防風)のではなく、吹けば散り去る風を貯めておく(蔵風)という意味であろうが、実際の相地においてはどちらも同じことである。すなわち、穴の周囲を山で囲むことによって、その中央の凹地に陰陽二気の結合と生気の活動をもたらすのである。蔵風は青龍、白虎、朱雀、玄武の四神砂が中心をなし、そのほかに五星、九曜、砂星の官、鬼、窺などがあり、術法上たいへん複雑である。

2章. 風水について

2-1.風水の概要

2-2.風水説の歴史

2-3.主要語句

2-4.風水説の原理

3. 得水法

風水での水の役割やその重要性はさまざまな面から説明できるが、最も妥当な説明は陰陽論的解釈であると思われる。

得水は陰陽和合の必要不可欠な存在としてその重要性が認識される。『葬書』でも、「風水の法、得水を上となし、蔵風これに次ぐ」としている。

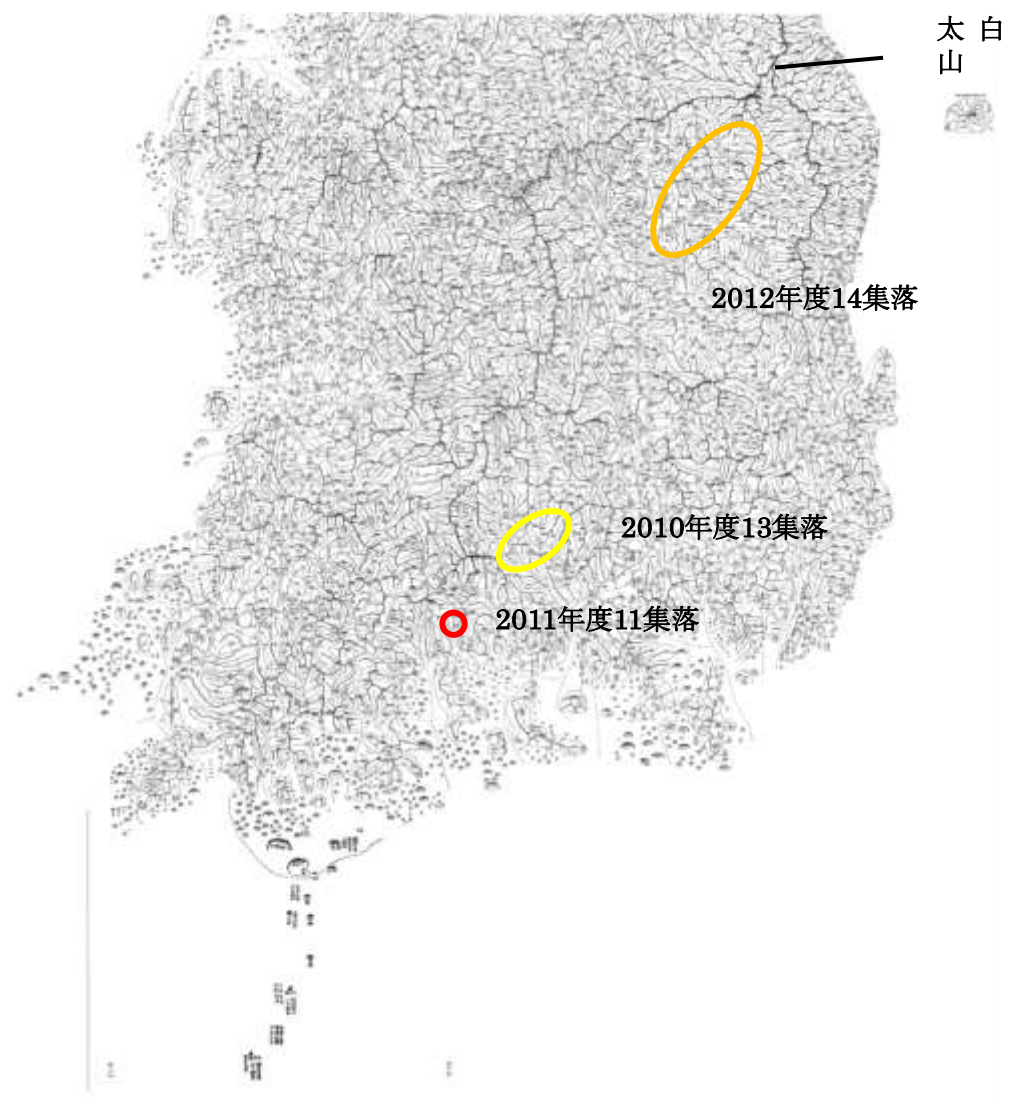
陰陽二気による山と水の説明は、『明山論』によく指摘されている。「そもそも、二気が融穴して山となり、水となるので、山水を陰陽という。山水が補いあって陰陽が和し、和して冲気となる。山水が聚集して陰陽が会し、会して生氣が生じるのが吉である。山が大きくて水が小さければ独陽、その逆であれば独陰、山に起伏がなければ孤陰、水に沈寂さがなければ孤陽という」とし、山と水との補完関係を陰陽論の立場から説明している。

3章. 調査対象地の概要と地形特性

3-1.はじめに

3-2.研究対象集落について

3-3.集落別にみる韓国農村集落の地形特性



3章. 調査対象地の概要と地形特性

3-1.はじめに

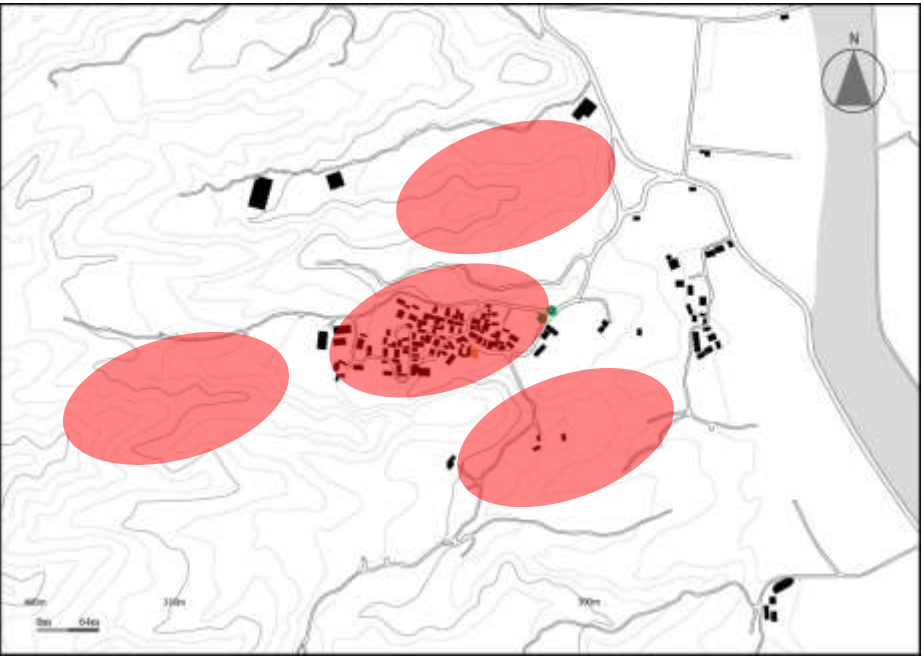
3-2.研究対象集落について

3-3.集落別にみる韓国農村集落の地形特性

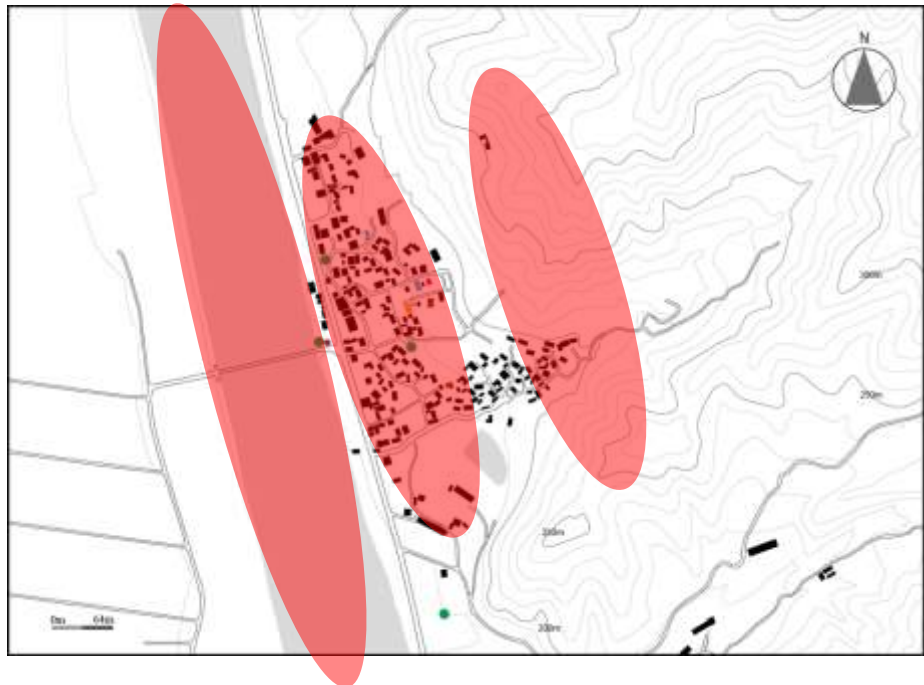


- 4章. 理念から導き出す地形構造分類
 - 4-1. 風水の形式理論と地形との整合性
 - 4-2. 蔵風法を重視した地形構造
 - 4-3. 得水法を重視した地形構造
 - 4-4. 生活風水を重視した地形構造

「蔵風法閉鎖型」



「蔵風法開放型」



4章. 理念から導き出す地形構造分類

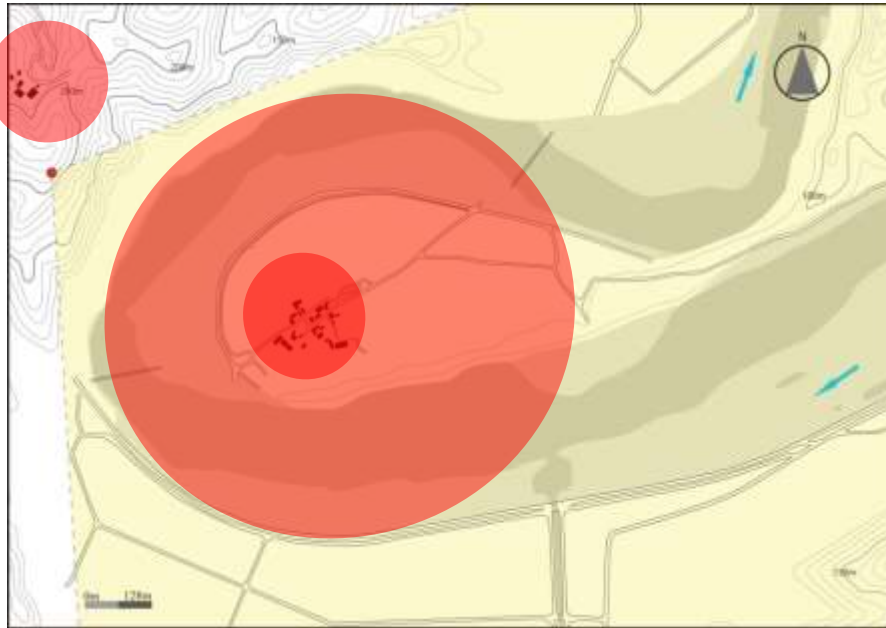
4-1. 風水の形式理論と地形との整合性

4-2. 蔵風法を重視した地形構造

4-3. 得水法を重視した地形構造

4-4. 生活風水を重視した地形構造

「得水法玉帯型」



「得水法合流型」



4章. 理念から導き出す地形構造分類

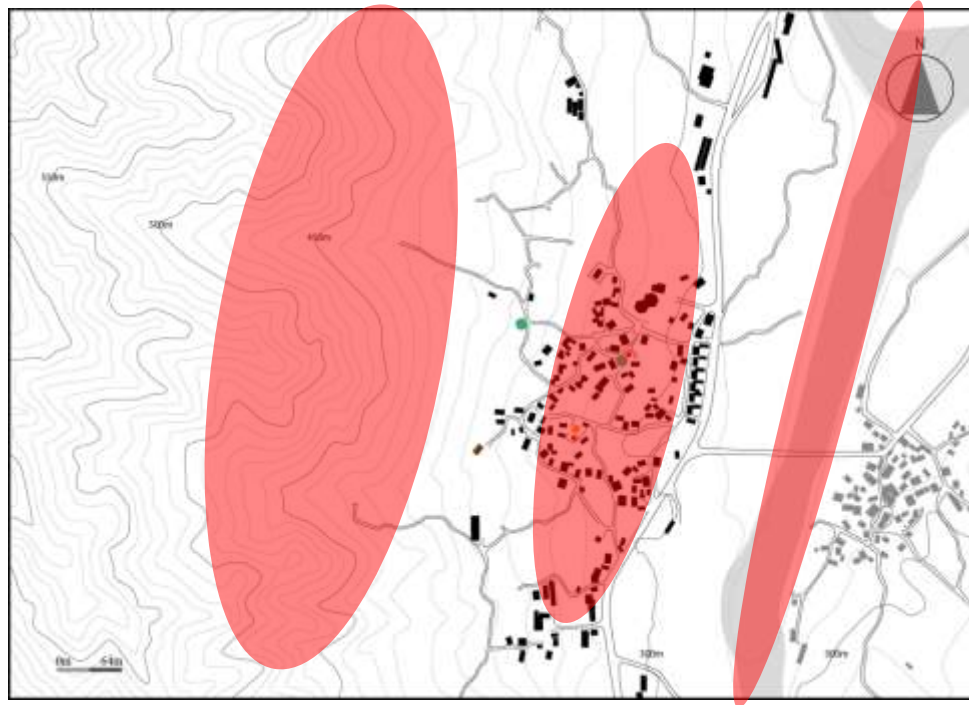
4-1. 風水の形式理論と地形との整合性

4-2. 蔵風法を重視した地形構造

4-3. 得水法を重視した地形構造

4-4. 生活風水を重視した地形構造

「生活風水型」



5章. 風水説に基づいた韓国農村集落の景観

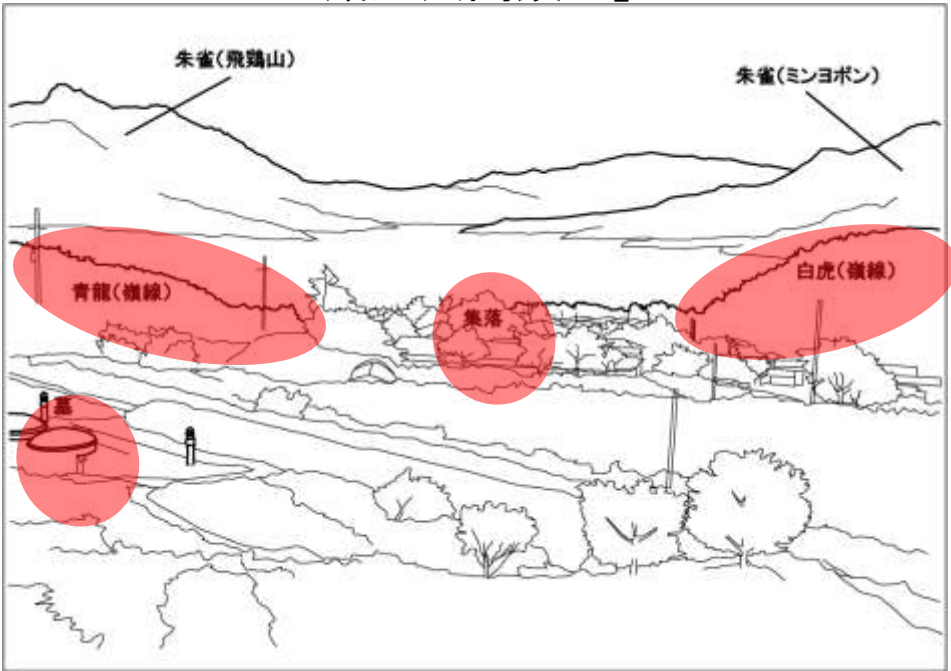
5-1. 風水景観の定義

5-2. 蔵風法の風水景観

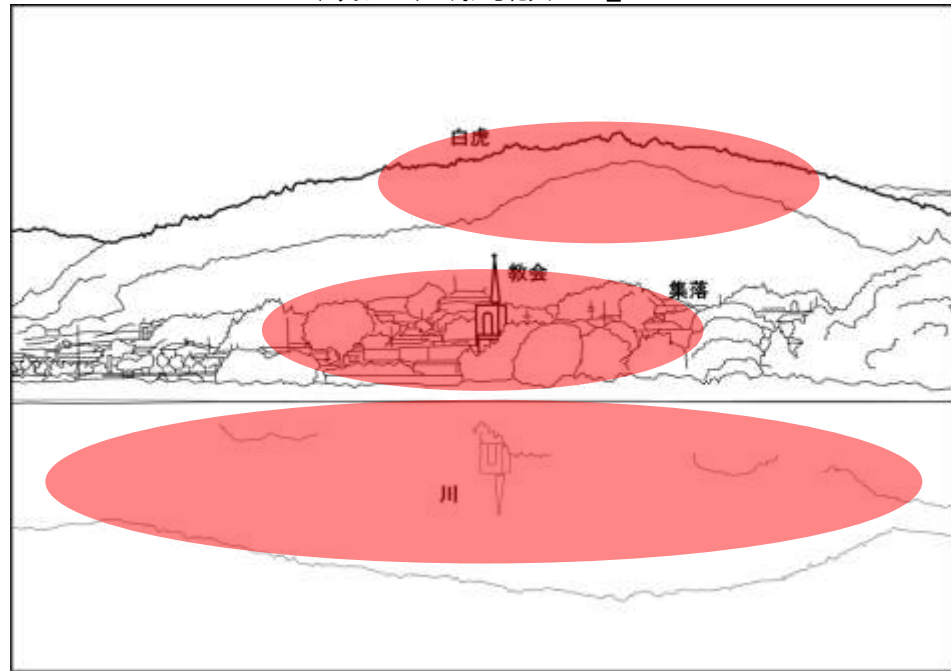
5-3. 得水法の風水景観

5-4. 生活風水の風水景観

「蔵風法閉鎖型」

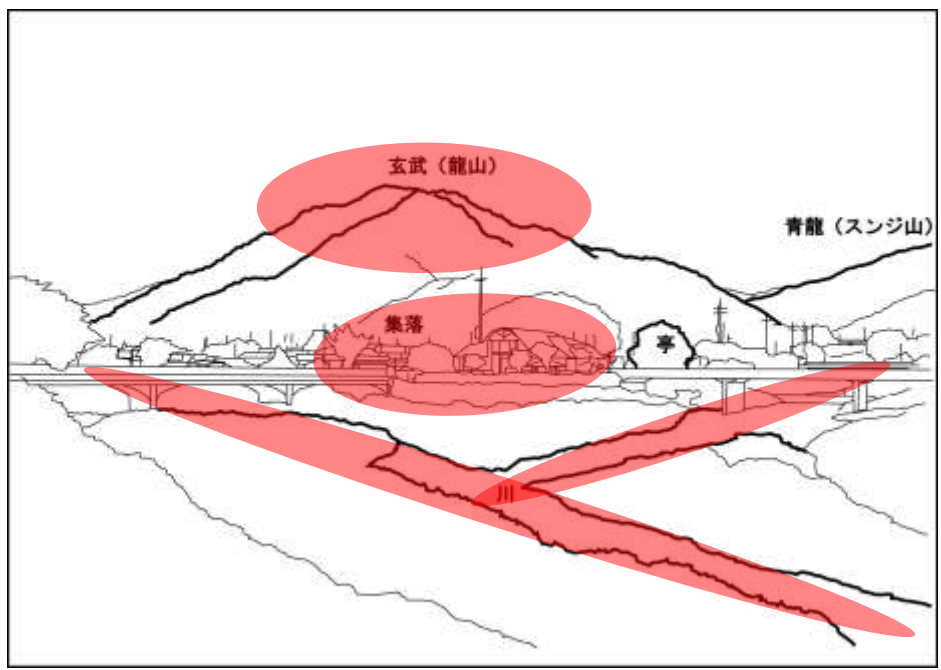


「蔵風法開放型」



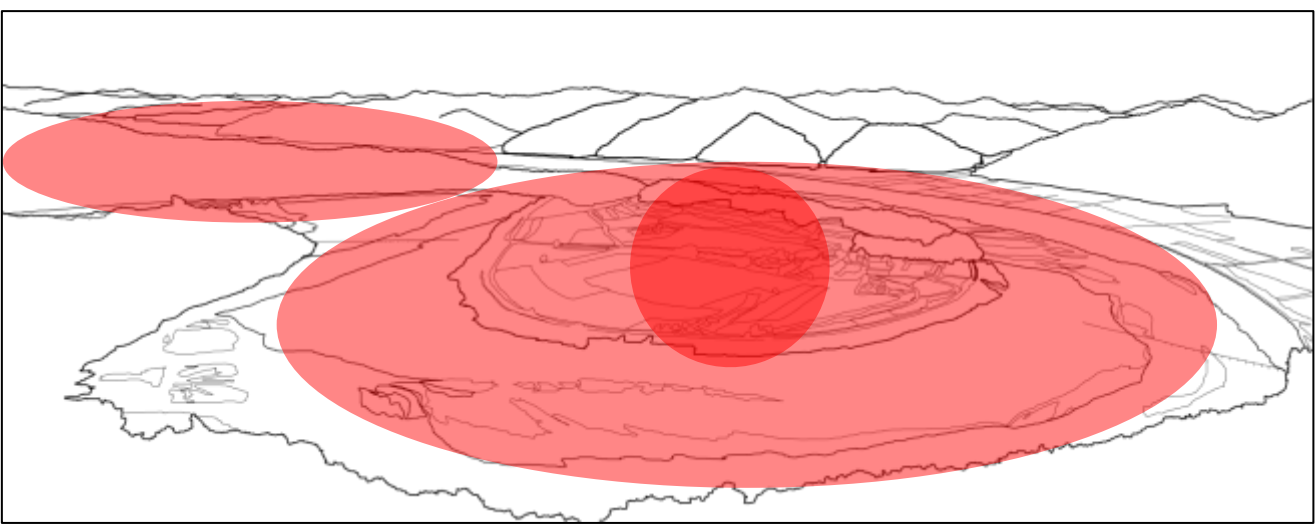
5章. 風水説に基づいた韓国農村集落の景観

- 5-1. 風水景観の定義
- 5-2. 蔵風法の風水景観
- 5-3. 得水法の風水景観
- 5-4. 生活風水の風水景観



「得水法玉帯型」

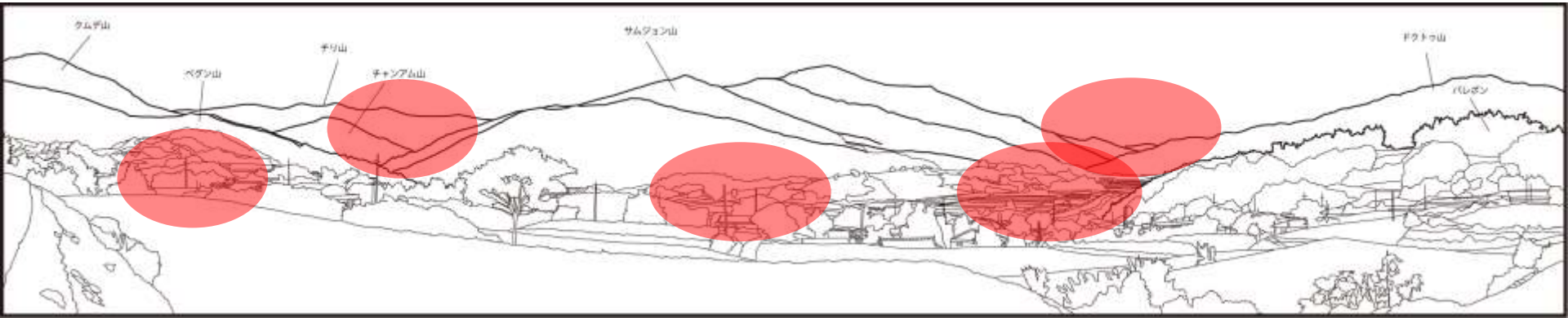
「得水法合流型」



5章. 風水説に基づいた韓国農村集落の景観

- 5-1. 風水景観の定義
- 5-2. 蔵風法の風水景観
- 5-3. 得水法の風水景観
- 5-4. 生活風水の風水景観**

「生活風水型」



風水景観とは自然のあるがままの姿を尊重しつつ、住環境と調和させることで生まれる独自の景観であり、住民と先人たちの自然との調和の知恵が深く根付いている。

そしてこの景観は安堵感を与えるもので、住民たちの風水に守られているという精神的な後ろ盾があって成り立っており、風水理論上重要な要素である亭や祠堂、石碑などに対する敬意を培い、それらを含めた周辺環境を保全しようとする中で、より一層景観的な美意識も養われていると感じられる。

このような単に地形構造上豊かな自然に囲まれているだけでなくそこに住む人々の精神的な支えにさえなれる景観を私たちは今後の都市生活と開発の中で忘れてはならない。